

草津白根山の火口周辺警報を解除

～ 噴火警戒レベル 2 (火口周辺規制) から 1 (活火山であることに留意) へ引下げ ～

草津白根山では、東京工業大学によると、2014 年以降、湯釜の湖水に含まれる高温の火山ガス由来の成分の濃度上昇が続き、火山活動が活発な状態であることを示していましたが、2017 年に入って低下傾向に転じ、現在もその傾向が続いていることが確認されました。また、火山性地震は少ない状態が続き、地殻変動観測では収縮傾向がみられています。

これらのことから、山頂火口から 1 km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、本日 (7 日) 14 時 00 分に草津白根山の火口周辺警報を解除し、噴火警戒レベルを 2 (火口周辺規制) から 1 (活火山であることに留意) に引き下げました。

一方、湯釜火口及び水釜火口周辺の熱活動の高まった状態は継続していますので、引き続き湯釜火口から概ね 500m の範囲に影響を及ぼすごく小規模な火山灰等の噴出に注意してください。

また、周辺の窪地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので、注意してください。地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

問い合わせ先

気象庁地震火山部火山課

電話：03-3212-8341 (内線 4524)